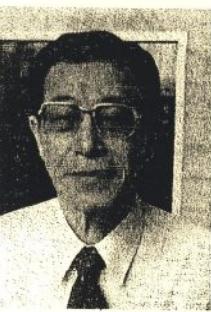


田迎だより

2010年4月
田迎校区
青少年健全育成協議会
発行

「新しい年を迎えて」

託麻中学校長 鬼塚 信臣



月脚 政憲

子供達の笑顔咲く！“花の町田迎”

熊本市幸田まちづくり交流室・公民館長

寒さもやわらぎ、校庭の桜にもつぼみがつき始めました。春には、すべてが新しく変わり、何かが始まろうとするエネルギーを感じます。

そのような中、さる三月十二日、二百九十八名の生徒が、本校を卒立っていきました。卒業生の皆さんには、是非、高い目標を持つて前進して欲しいと願っています。もちろん、目標達成の為には苦しい忍耐と努力が必要です。時には、甘え、おぼれて自分を見失うこともあると思いますが、素直さと忍耐と努力の後の感動を心の糧に、夢と希望を追い求め欲しいと思います。目標は、夢に続く階段です。小さな目標の達成の積み重ねの先に大きな夢の実現があります。さて、中学生時代は身心ともに大きく成長し、揺れ動く時期です。身体面での成長は三年間で著しく、精神面での発達とのアンバランスになる時期でもあります。思考力・判断力・表現力が不十分で、思春期のエネルギーを正しく昇華する方法がわからず、安易な方へ走り、問題行動を起こす事もあります。

自我の発達や反抗、情緒不安定などの心の動きが激しい時です。また、情報過多で、大人の世界に大きく左右されやすい年齢であります。ただ、子ども達は、一人ひとり個性や可能性を持っています。子どものよさ、持ち味を伸ばし、励まし、自信を持たせる事が大切だと思います。どの子も地域、日本にとつてかけがえのない人物です。二十一世紀を背負って行く大切な人材です。

本校は、今年創立六十三年目を迎えています。「人間尊重の精神を基底におき、知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、自ら学び考へ、活力に満ちた生徒を育成する」を目標に教育を進めています。施設設備も整い、先生方も個性と能力のある教師が揃っています。一人ひとりの生徒に目を向け、愛情を持って熱心に指導をしています。伝統と校風を更に確かなものにし、「中学生としてのしつかりした生活態度と確かな学力、たくましい身体と豊かな心を持つた生徒」を育ててまいります。

昨年は、十数年ぶりの体育大会、それに競歩会等々、生徒、先生、保護者の皆さんのがひとつになって、感動的な行事に成し遂げました。更に、生活面、学習面等、様々な面で、生徒の大きな向上が見られました。今後更に、家庭と学校が連携し、社会人として当たり前に出来る生徒を育成して行きたいと思います。

本校区は、青少年健全育成協議会を始め、地域の諸団体も「地域の子供は地域で育てよう」のスローガンのもと、子供の健全育成に尽力されています。今後も生徒達の最大の応援団であつて欲しいと思います。誰もが夢を語り、誰もが希望を託したくなる、そうした託麻中学校になればと念じております。

桜の頃を迎えたが、田迎校区は、桜通り・けやき通りなど植物にちなんだとおりも見かけられると共に、花卉栽培の方も多く「花のまち」を実感しています。

さて、毎年盛大に開催されます「夏祭り・お化け屋敷」には、田迎・御幸・田迎南の3校区の青少協の皆様に、早朝からの竹切りやお化け屋敷会場設営と共に円滑な運営にも、多大なご尽力とご協力を賜り、本当にありがとうございます。田迎校区青少協の皆様をはじめ、多くの地域の方々の「子供たちを喜ばせたい！」そんな温かい気持ちが、しみじみと感じられる恒例行事となっています。

私の幼い頃には無かつたテレビゲームや携帯電話などの普及で、子ども達の外で遊ぶ姿を見かけることが少なくなりました。そんな中、田迎校区青少協主催で、四月二十五日の日曜日に初の第一回プレイパークが開催されますことに、大きな期待を寄せております。

これには、プレイパークを何度も経験しておられる御幸校区からも多数のご協力があるとのこと。地域連携の大切さを、改めて教えられた思いです。このような校区を超えて、時代を担う子供たちのために共に手をつなぎ、連携・協力されますことに、意義深さと地域の活力を感じずにはいられません。

この催しにより、田迎校区の多くの子ども達の笑顔があふれ、まさしく子供たちの笑顔咲く！“花のまち田迎”が実現されますことを、大変嬉しく思います。子供も大人も楽しく！みんな笑顔で大いに楽しんで下さい。

